資料４

成果指標目標値設定の考え方（概要）

1　成果指標に係る数値の把握

〇現状、各課が把握している数値を記載

→目標値の提案

〇策定委員会で成果指標の見直しがあったり、各課が今後の調査で把握したりしていく項目については網掛け表示

→数値把握後に目標値の設定。（対象への調査時期の関係から、令和7年度に数値把握がずれ込む項目もある）

➢Ⅰ-1-3災害等への対応　Ⅱ-3-4自律的、継続的に学び続ける教職員　等

2　目標値設定の主な考え方

〇現状値が高値の成果指標については、維持

➢Ⅰ-1-2人が困っているときに進んで助けている　Ⅰ-1-4郷土愛　等

〇国の計画や通知等に準拠

➢Ⅰ-1-4CEFR A1レベルの生徒の割合　Ⅱ-3-4時間外在校等時間　等

〇学校の取組に関わる部分は徹底を目指す

➢Ⅰ-1-7幼小連携　Ⅱ-2-4特別の教育課程の実施　等

〇他と比較できる項目については、その値を参考にしつつ目標値を設定

➢Ⅰ-1-1学びの自己調整　Ⅰ-1-3スポーツに親しむ心　等

※原則、値や目標値は対象を合算して示す。

※指標の達成状況や社会状況の変化等により、5年を待たず成果指標の変更も検討する。

委員会として重点項目の設定

➢Ⅰ-1-5　ICT機器の利活用

Ⅰ-2-1　児童生徒の相談窓口認識

Ⅱ-3-4　教職員の時間外在校等時間とワークエンゲージメント

Ⅱ-4-1　学校管理下における事故発生率

Ⅲ-5-1　保護者の地域や学校への参画意識

※資料５において「☆」を付記

3　R７年度以降

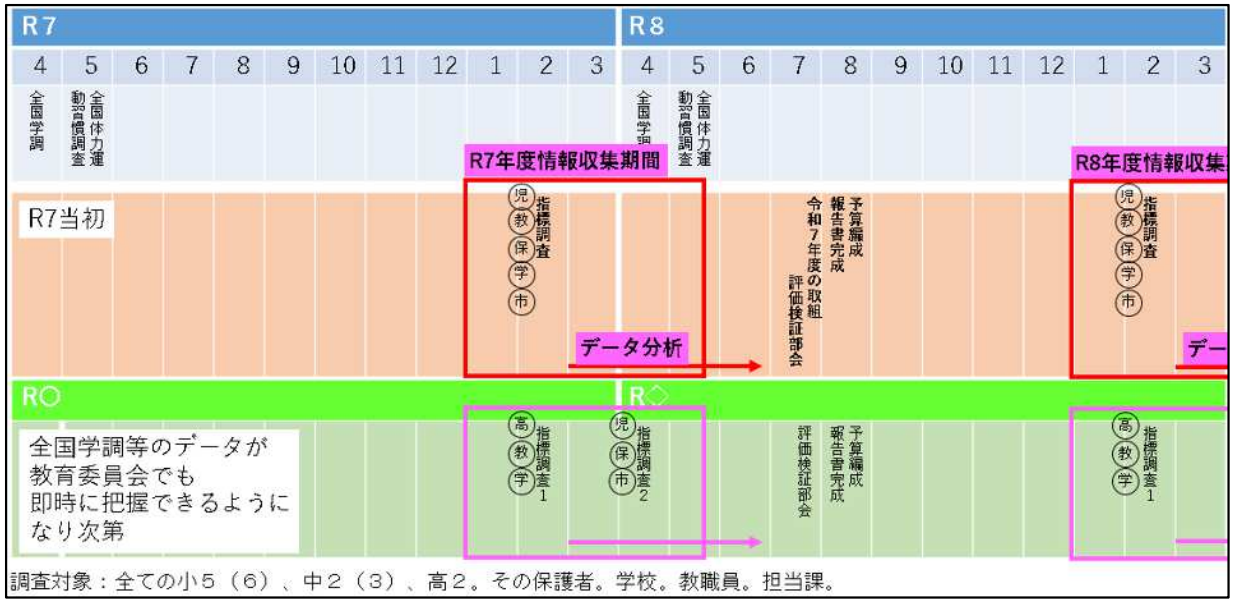
〇評価検証フローの作成・検討

・質問項目の設定　・分析観点の決定

・時期　・方法　等

〇委員会が実施するこどもや家庭、学校、教員への調査について、時期内容等の精選統合検討

〇一部成果指標に係る数値の把握及び目標設定

〇データの分析及び利活用の運用検討

評価検証のサイクル